

群馬県及び連携する埼玉県の詳細

群馬県・埼玉県においては、自動車関連産業等の産業拠点が点在し、両県間の物流も盛んである。また、平成27年には埼玉県内の圏央道が全線開通し、高規格道路（北関東・関越・圏央・東北）に取り囲まれた利便性の高い地域になっており、さらにスマートICの開設が予定されるなど、本地域の産業立地の優位性が高まっている。

課題

物流拠点と交通結節点間の交通の円滑化を図り、物流の効率化を支援する道路整備等を推進する必要がある。

目的

両県を持つポテンシャルを活かすため、群馬県・埼玉県の両県をつなぐ道路、及び高規格道路と産業拠点とのアクセス道路を整備して物流機能を高めることにより、広域的な競争力を強化し、本地域の更なる産業活性化を図る。

整備効果の検証

（A11-001（国）354号 海老瀬工区）

群馬県と埼玉県の県境部において、（国）354号板倉北川辺バイパスが平成30年3月24日に開通した。バイパス整備により、拠点施設「板倉ニュータウン」と埼玉県間の大型車交通量（大型車混入率）が20.1%から36.6%に上昇した。整備前から約1.8倍となっており、物流機能が高まり産業活性化に寄与していることが確認できる。

事業の指標と成果報告

指標1 連携する2県の計画エリアにおける産業産出額の増加

産業算出額 = 群馬県・埼玉県の計画エリアにおける製造品出荷額等

現況:133,249億円(H28) ⇒ 目標:148,036億円(+11.1%)(R2末)
⇒ 実績:150,803億円(+13.2%)(R2末)

指標2 群馬県の計画エリアにおける産業産出額の増加

産業算出額 = 群馬県・埼玉県の計画エリアにおける製造品出荷額等

現況:67,318億円(H28) ⇒ 目標:74,790億円(+11.1%)(R2末)
⇒ 実績:78,247億円(+16.2%)(R2末)

指標3 群馬県の計画エリアにおける県外企業立地件数（製造業）

計画期間内における県外企業の立地件数増加

目標:110件の新規立地(R2末) ⇒ 実績:74件の新規立地(R2末)

連携する2県の産業産出額が
17,554億円増加しました！

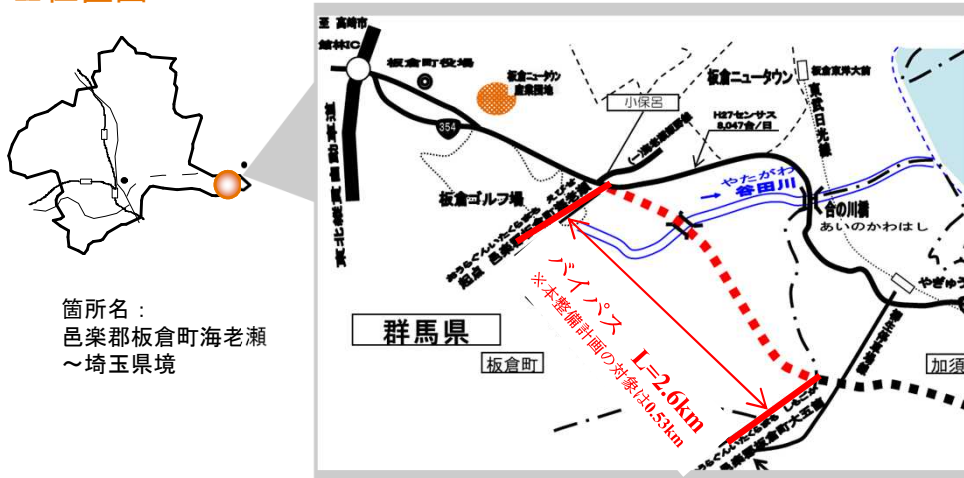
群馬県の産業産出額が
10,929億円増加しました！

群馬県内の県外企業の工場が
74件増加しました！

整備効果事例

事例①（国）354号 バイパス整備

■位置図



■整備効果

整備前



大型車のすれ違いが困難なため、周辺の産業活動に影響をきたしていました。

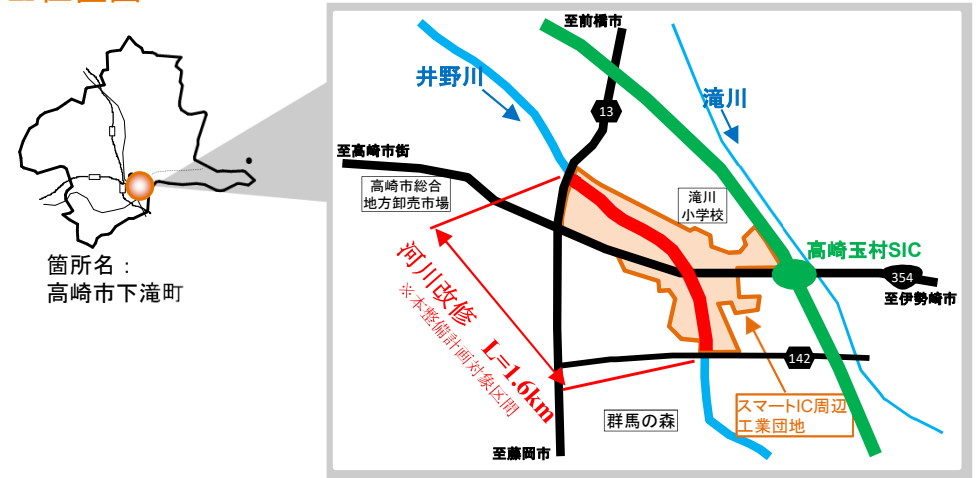
整備後



消費地と産業拠点である板倉ニュータウンとのアクセス性が向上しました。

事例②（一）井野川 河川改修

■位置図



■整備効果

整備前



川幅が狭く、氾濫のおそれがあり、周辺の産業活動への影響が懸念されていました。

整備後



川幅を広げ、水害リスクを軽減し、周辺の産業活動の安全性が高まりました。